

JUNKU トークセッション & サイン会

DOJIN 選書 058

『和算の再発見』（化学同人）

刊行記念講演会 & サイン会

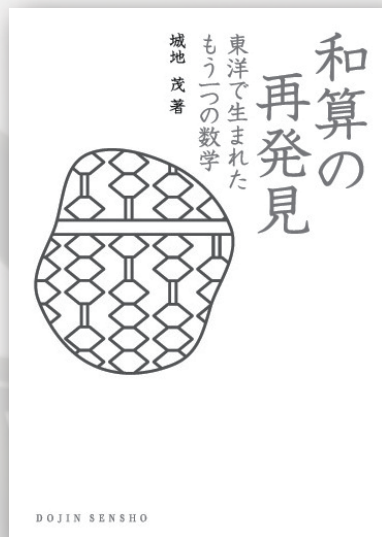
和算の知恵を再発見する

東洋で生まれたもう一つの数学

城地 茂 (大阪教育大学教授)

2014年6月21日(土曜日)

開演 15:00 (開場 14:30)



西洋数学が導入される前に日本で栄えた数学が「和算」です。和算といえば、関孝和に代表されるように、江戸時代に大きく花開いた日本独自の数学というイメージがありますが、その源流をたどると、2000年を超える東アジアの数学文化の蓄積の上に成立したことがわかります。

今回の講演会では、東アジア、なかでも中国の数学が日本でどのように受け入れられ、独自の発展を遂げることになったのかという過程をたどりながら、そこに秘められた「知恵」を掘り起こします。『天地明察』で江戸時代の和算家に興味を持たれた方、『ロスト・シンボル』にも登場した魔方陣に不思議な魅力を感じた方はもちろん、多くの人に和算の知恵を再発見していただけたらと思います。

城地 茂 (じょうち しげる)

1959年、東京生まれ。ロンドン大学アジアアフリカ学院博士課程修了、Ph.D (学術博士)。また、国費留学生として、北京師範大学に留学、高級進修生課程修了。イギリス・ケンブリッジ大学ニーダム研究所研究員、台湾・銘伝大学応用日語系准教授、台湾・国立高雄第一科技大学応用日語系教授、外国語学部学部長代行などを歴任し、現在は大阪教育大学国際センター教授。専門は、東アジアの科学史、とくに文化の面から見た数学史で、日本語、中国語、英語による論文、著書など合計約60篇がある。



●会場 … 3階喫茶コーナーにて。入場料500円(ワンドリンク付)

●定員 … 30名(定員になり次第〆切となります)

●受付 … 3Fお会計カウンターにて。電話予約も承ります。

ジュンク堂書店大阪本店 Tel: 06-4799-1090